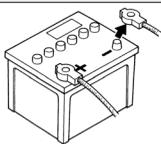


# 取付説明書(KD-PAV7000)

## 取り付ける前に

- 作業中のショート事故防止のため、必ずバッテリーのマイナス端子のコードを外しておいてください。
- 安全運転のため運転の妨げにならないところに、また本機の放熱効果が十分発揮されるようなところに取り付けてください。
- 取り付ける前に仮接続をして本機が正しく動作するが確認してください。
- 取り付けは必ず付属の部品(ネジなど)を指定通り使用し、しっかり固定してください。指定以外の部品を使用しますと内部の部品がこわれたり、ゆるんで外れたりすることがあります。
- ネジやナットを締めるとき、他の配線をはさみ込まないようにご注意ください。
- 車体やネジ部分、シートレール等の可動部に配線をはさみ込まないように注意してください。
- ハイタウェイユニットを設置するときは、次のことにご注意ください。
  - 前部座席の下やトランクの中など安定した場所に取り付ける。
  - ラジエーターなど熱を発する物の側や、燃えやすい物の側に取り付けない。またグローブボックスの中やカーペットの下など、放熱の妨げになる場所に取り付けない。



- 取り付けが困難な場合はお買上げの販売店にご相談ください。
- 車種によっては、コンソールボックスなどに取り付けるとき、取り付けキット(市販品)を必要とすることがあります。この場合の取り付けかたは、取り付けキットの説明書をご覧ください。

## ご注意

- 取り付け金具(車のブラケット)を本機に取り付ける際は、必ず付属のネジ(長さ8mmまたは長さ8mmと3mm)をお使いください。それ以外のネジを使用しますと故障の原因になります。
- 本機を取り付けるときは、水平な場所を選びパーキングブレーキをかけ、エンジンキーを「OFF」にしてから行なってください。
- 配線をするときは、車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電流量オーバーにより火災の原因となります。

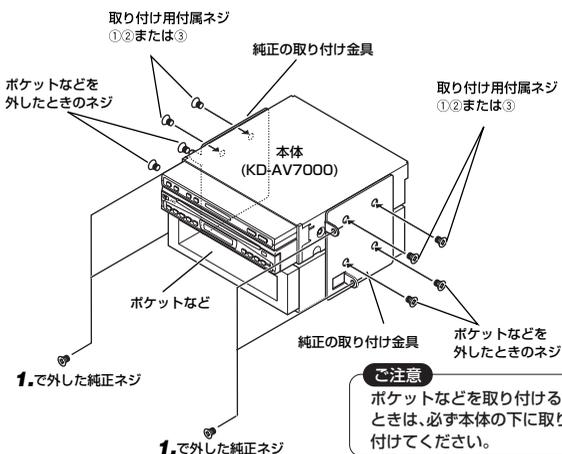
## 取り付け方法

### 本体

- 純正のオーディオを外す
- 本体に取り付け金具を取り付ける
- 接続する(裏面参照)
- 車両に固定する

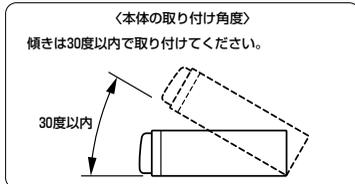
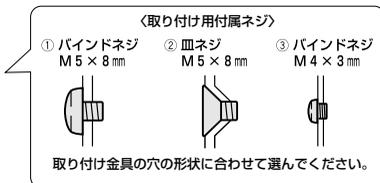
### —スリーブを使わずに取り付ける場合—

イラストは一例です。  
詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。

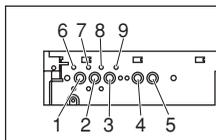


### ご注意

ポケットなどを取り付けるときは、必ず本体の下に取り付けてください。



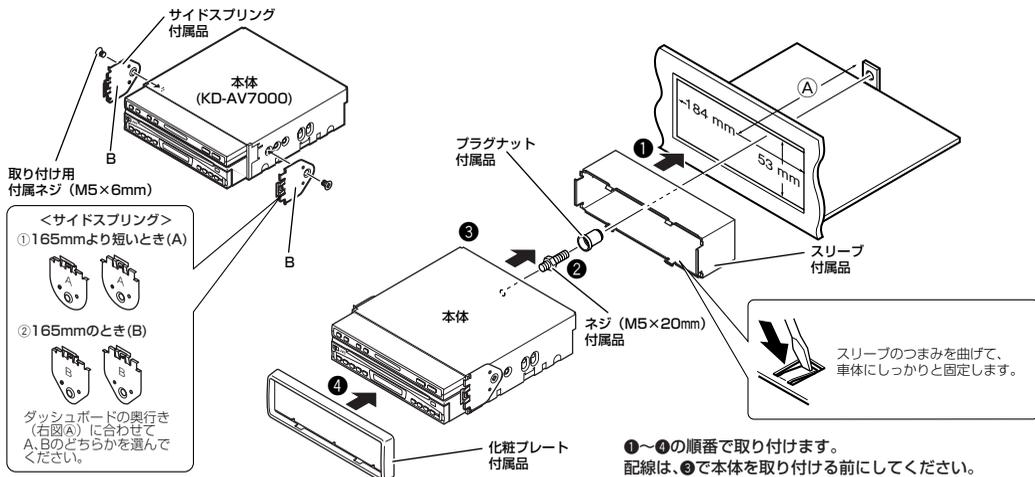
- 外したネジ類は紛失しないように大切に保管してください。
- 取り付け金具のツメがじゃまになるときは、折り曲げて平らにして使います。



取り付け金具を取り付ける際は、次の寸法の取り付けネジを使用してください。  
それ以外のネジを使用すると、本体が破損する恐れがあります。

取り付け穴 1~5を使用する場合: M5 × 8mm  
取り付け穴 6~9を使用する場合: M4 × 3mm

## —スリーブを使用して取り付ける場合（欧州車のとき）—

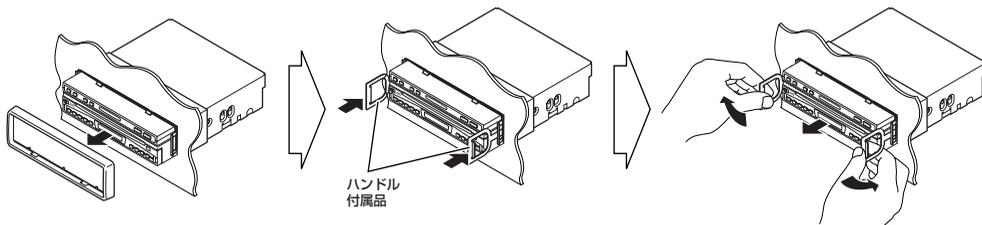


## —本体を取り出すには—

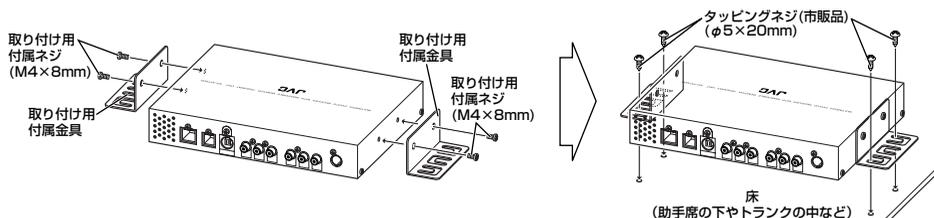
1. 化粧プレートを取り外します。

2. ハンドルを本体とスリーブの間に差し込みます。

3. ハンドルを押さえ、本体を手前に引いて取り出します。



## ハイダウェイユニット



### ご注意

床に取り付けるとき燃料タンクや配管等に穴をあけないよう、注意してください。

# クレードルの取り付けかた

## 取り付ける前に

本機は、後部座席でモニターを使用するためのクレードルが付属しています。

クレードルに本体から取り外したモニターまたは別売のモニターユニットKV-MAV7001を接続することで、後部座席でも映像をお楽しみいただけます。

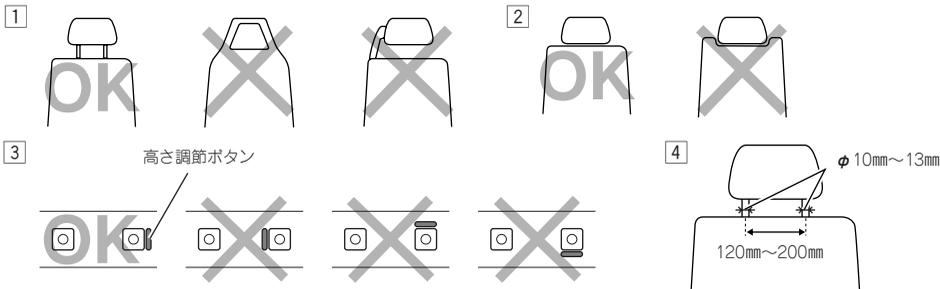
● クレードルは、次のような座席に取り付けることができます。

- ① ヘッドレストが2本のシャフトで支えられている。
- ② シートのヘッドレスト取付部がたいらになっている。
- ③ ヘッドレストの高さ調節ボタンが、外向きになっている。
- ④ ヘッドレストのシャフトの直径が10mm～13mmで、シャフトの間隔が120mm～200mm

## ご注意

- 本クレードルは必ず車両のヘッドレストに取り付けてお使いください。ヘッドレスト以外の箇所には取り付けをしないでください。
- クレードルを取り付けるときは、すべての部品をしっかりとヘッドレストに固定してください。部品がゆるんだまま走行しますとクレードルや金具がはずれる原因となります。
- KD-AV7000本体に接続するときは、クレードルや接続コードが運転操作の妨げにならないようにコードをまとめてください。
- 接続をするときは、ヘッドレストやシートを動かしたときに接続コードが抜けたりシートレール等の可動部にはさまってコードを傷つけたりしないようご注意ください。

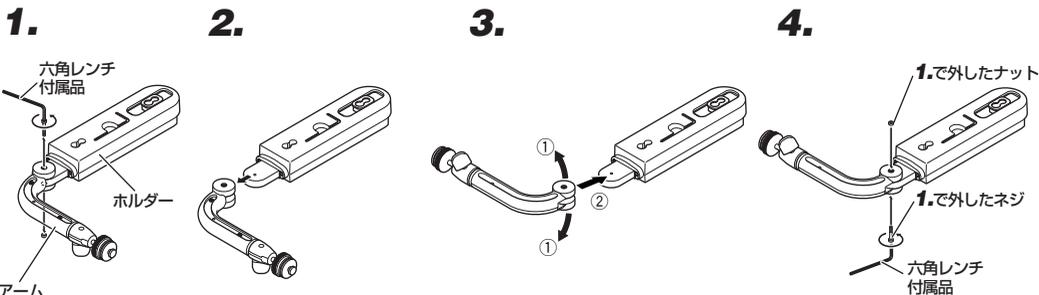
## 取り付け可能な座席



## アームの向きをかえる

アームの取り付けである向きをかえることで、左右のどちらの座席にもクレードルを取り付けることができます。アームの向きをかえるには、ホルダー上部に付属している六角レンチを使用します。

1. アームを固定しているネジを外す
2. アームを取り外す
3. アームの向きをかえ、ホルダーに取り付ける  
アームの先を広げて①、ホルダーに取り付けます②。
4. アームをネジで固定する



## 取り付け方法

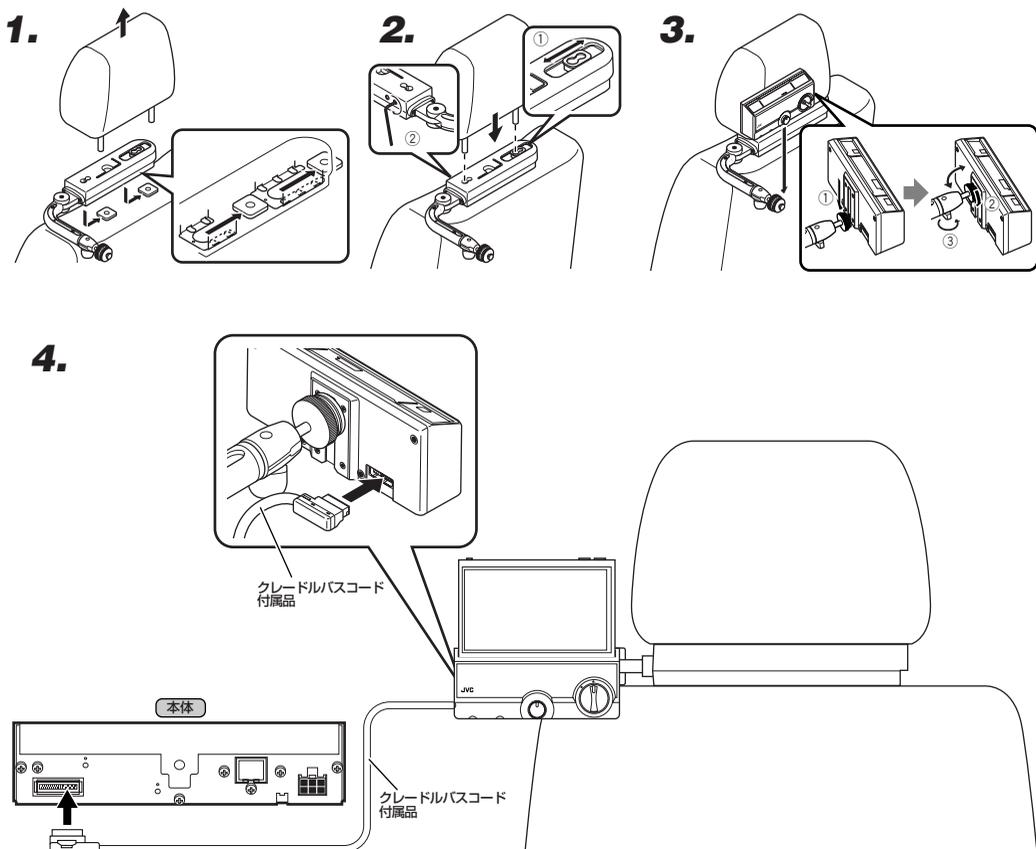
- ・ 取り付けるときは、すべての部品をしっかりとヘッドレストに固定してください。

- 1. 座席のヘッドレストを外し、ホルダーを取り付ける**
  - ・ ホルダーの取付金具を、座席とヘッドレスト取り付け部の間に差し込むようにして固定してください。
- 2. ホルダーを固定し、ヘッドレストを取り付ける**
  - ① ホルダーのシャフト穴を調節し、ヘッドレストを取り付けます。
  - ② ホルダーの側面にあるネジをしめてホルダーを固定します。
- 3. アーム先端の金具にクレードルを取り付け、固定する**
  - ① アーム先端の金具にクレードルを差し込みます。
  - ② ネジをしめて、クレードルをしっかりと固定します。
  - ③ アーム先端のつまみで、クレードルの取り付け向きを調節することができます。
- 4. 本体とクレードルをクレードルバスコードで接続する**

### ご注意

#### クレードルの取扱いについて

- クレードルの位置を調節する際、運転者の視界の邪魔にならないようにしてください。
- モニターをつないでいない状態で、EJECT/LOCKレバーを動かさないでください。  
故障する原因となります。
- モニターをクレードルにつなぐときは、必ずEJECT/LOCKレバーをLOCKの位置に回して固定してください。
- モニターをクレードルにつなぐときは、クレードルにしっかりと差し込んでください。  
完全に差し込んでいない状態でつまみを回すと、EJECT/LOCKレバーを破損する恐れがあります。
- ヘッドホンを使用する場合は、つなぐ前に音量を落としてからつないでください。
- 交通事故防止のため、運転者はヘッドホンを使用しないでください。

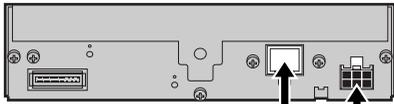


# 接続のしかた —必ずお読みください。—

## 基本の接続

### 4スピーカーシステムの接続例

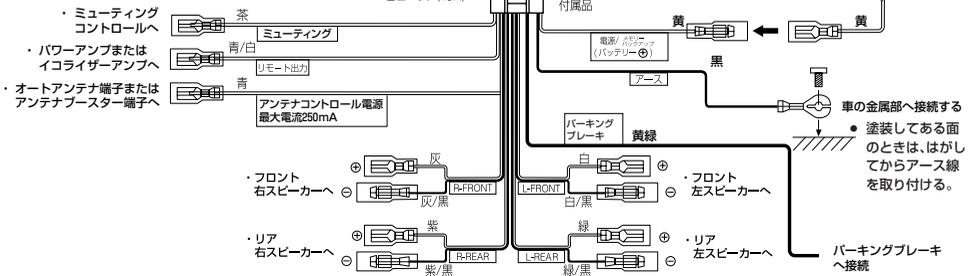
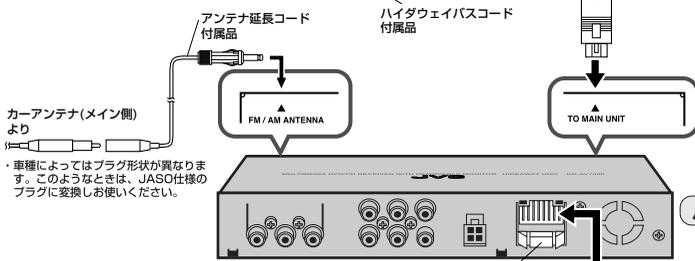
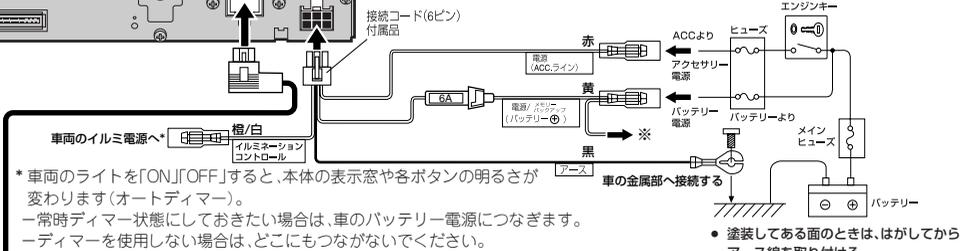
#### 本体



#### 接続が終わったら

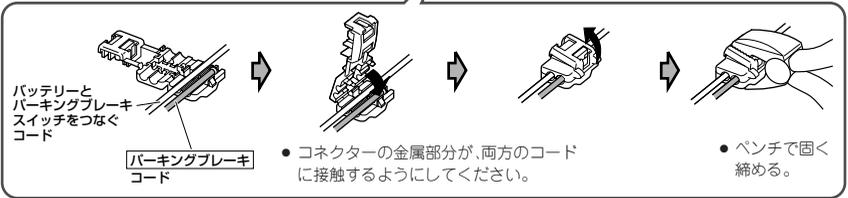
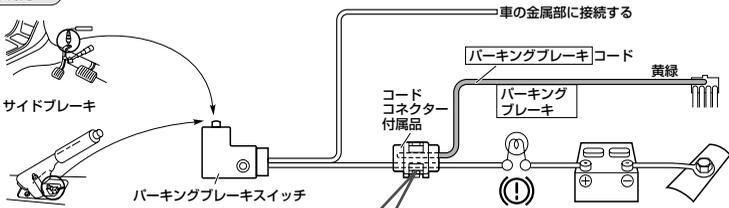
マウス  
外しておいたバッテリーの ⊖ 端子のコードを元のように接続し、ブレーキランプやライト、ホーン、ウインカーなどの電装品が正しく動作することを確認してください。

RCAピンコードや接続コードなどは、しっかり差し込んであるか確認してください。不完全な接続は、車の振動などで抜けてしまうなど、故障の原因となります。



## サイドブレーキとの接続

● 交通安全のため、必ず「パーキングブレーキ」コードをパーキングブレーキスイッチに接続してお使いください。



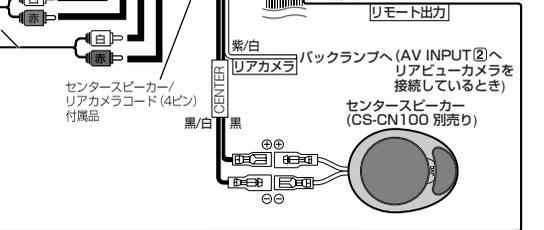
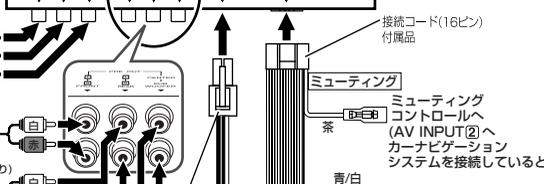
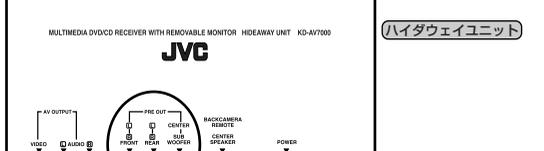
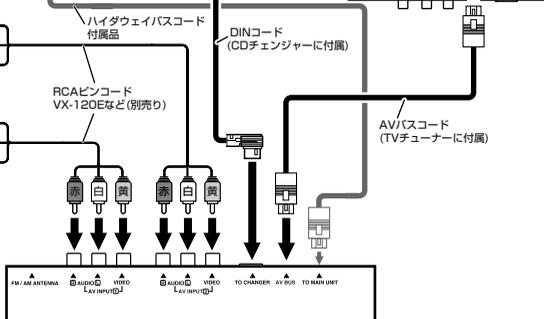
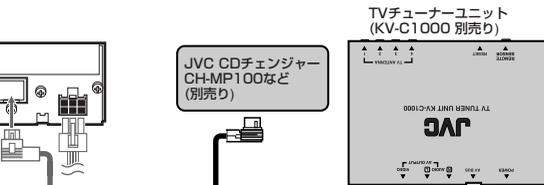
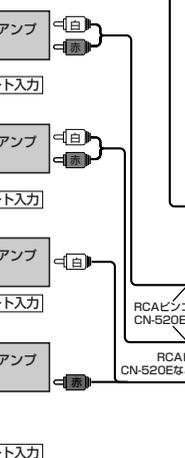
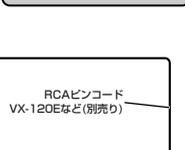
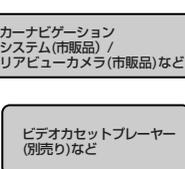
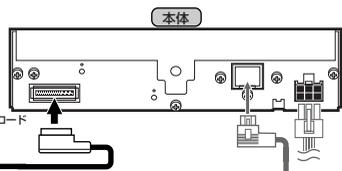
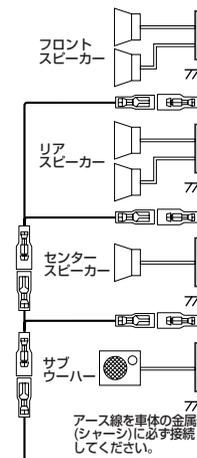
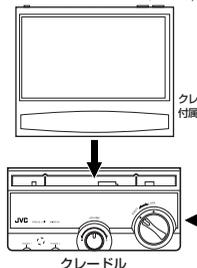
## システムアップする場合

—取り付けが終わったら各機器で、リセットの操作をしてからお使いください。—

※接続する機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

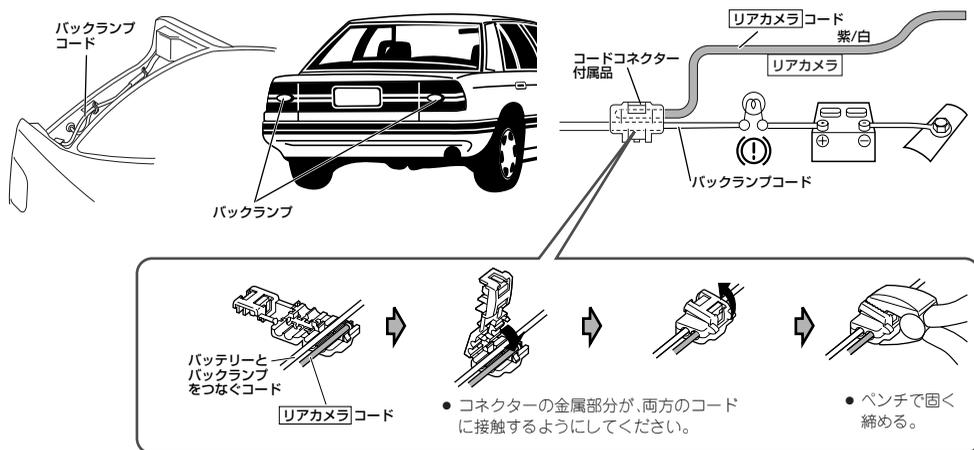
●シートレール等にはさまれないように配線し、プラグをしっかり接続してください。

本体から取り外したモニター  
またはKV-MAV7001 (別売り)



## リアビューカメラを接続する場合

AV INPUT 2にリアビューカメラを接続しているときは、**リアカメラ**コードを車両のバックランプコードに接続してください。



## 〈お知らせ〉

### ● アンテナコントロール電源の接続について

電動アンテナ装備車またはアンテナプースター装備車の場合、車両側のアンテナコントロール端子と本機の**アンテナコントロール電源**コード(青)を接続してください。

また、一部の車種によってはアンテナ線からアンテナコントロール端子が出ていることがあります。本機の**アンテナコントロール電源**コード(青)をこの端子に接続してください。

### ● ダイバーシティアンテナ装備車に取り付ける場合

カーアンテナの太いプラグの方(メイン側)のみをハイダウェイユニットに接続してください。

### ● リアビューカメラと接続したとき

バックランプと連動して、バックする際にカメラの画像を表示することができます。この場合、上記の図のように本機の**リアカメラ**コード(紫/白)をバックランプのコードに接続します。そのあと「その他の各種設定をする(PSMモード)」の「AV2入力選択」を「カメラ」に設定します(→取扱説明書 57ページ参照)。

### ● 市販のカーナビゲーションシステムと接続したとき

市販のカーナビゲーションシステムのボイスコマンド入力時または音声ガイド中に、本体の音声を一時的に消音(ミュート)することができます。この場合、本機の**ミュート**コード(茶)をミュートコントロール出力に接続します。接続については、お使いのナビゲーションシステムの取扱説明書も併せてご覧ください。そのあと「その他の各種設定をする(PSMモード)」の「ナビ入力極性」を「ミュート1」または「ミュート2」に設定します(→取扱説明書 57ページ参照)。

### ● ご注意

#### ● **ミュート**コード(茶)の接続について

市販の全てのカーナビゲーションシステムとの接続で、動作を保証するものではありません。万一、正しく動作しないときは、接続を外してください。

### ● 接続が終わったあとの動作確認について

まず車のエンジンをかけてから、本体のリセットボタンを押してください(→取扱説明書 79ページ参照)。そのあと本機の電源を入れて正しく動作するかお確かめください。エンジンキーが「OFF」または「ACC OFF」の状態では電源を入れることができません(→取扱説明書 15ページ参照)。それでも正しく動作しないときは、取扱説明書 79～82ページの「故障かな?と思う前に」をご覧ください。

# 安全上のご注意

—はじめにお読みください。—

## 警告

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。



- ・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

配線作業中は、バッテリーの<sup>マイナス</sup>端子のコードを外す。



- ・ショート事故による感電やけが、火災の原因となります。

電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源コードを接続することは絶対にしない。



- ・リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

本機を、前方の視界を妨げる場所やステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げるなど運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない。



- ・交通事故やけがの原因となります。

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行う。



また、加工部のさび止めや浸水防止の処置を施す。

- ・交通事故や火災の原因となります。

取り付けやアース線を接続する場合は、ステアリング、ブレーキ系統、またはタンクなどの保安部品のボルトやナットは絶対に使用しない。



- ・これらを使用しますと制動不能や発火・事故の原因となります。

エアバッグのカバー部分や作動の妨げになる場所に、絶対に取り付けない。



- ・エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、事故やけがの原因となります。

## 注意

本機取り付けや取り外し・配線には、専門技術と経験が必要です。



- ・安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。
- ・場合によっては、本機が熱くなっていることがありますので火傷やけがに十分ご注意ください。

必ず付属の部品を指定通り使用する。



- ・指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして事故やけがの原因となることがあります。

雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気やほこりの多いところへの取り付けは避ける。



- ・本機に水や湿気、ほこりが混入すると発煙や発火・故障の原因となることがあります。

必ず、パーキングブレーキコードを接続してお使いください。



- ・交通安全のため、走行中はモニターの映像が表示されず、音声のみとなります。また停止状態でもサイドブレーキを引かないと、映像は表示されません。

本機を不安定なところに取り付けない。



- ・正しい設置を行わないと、事故や故障の原因となることがあります。

振動の多いところなど、しっかり固定できないところへの取り付けは避ける。



- ・外れて事故やけがの原因となることがあります。

正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。



- ・接続が終わったら車のブレーキランプ、ホーンなどが正しく動作することを確認してください。

車体やねじ部分、シートレール等の可動部に配線をはさみ込まないように注意する。



- ・断線やショートにより、事故・感電・火災・故障の原因となることがあります。

本機を運転や視野、エアバッグなどの安全装置の動作を妨げる場所に設置しないでください。

